

(社) 全国腎臓病協議会 2013 年度事業計画

はじめに

全腎協は一般社団法人への移行のための準備を進めてきました。本年 11 月末までに一般社団法人への移行の申請を終え、一般社団法人にすみやかに移行することは全腎協に課せられた至上命題であり、全力で取り組みます。

一方、透析患者数の増加はとどまるところを知らず、2011 年末で 30 万人を超えました。しかし、全腎協に入会している会員は年々減少し、10 万人を割っています。これまでと同じことに取り組んでも将来に展望を持つことはできません。今こそ活動内容だけでなく、協議会の基本方針を見直し、会員目線、患者目線にたった活動に転換を図るべき時です。

これまでも成果につなげる活動を展開し、全腎協だからこそ出来ること、全腎協にしか出来ないことに取り組んできました。これからは患者は何を望んでいるのか、医療現場はどのような考えを持っているのか、さらに社会は何を求めているのかをしっかりと見極めなければなりません。患者会活動の原点に立ち返り、21 世紀にふさわしい患者会をめざし、新年度の事業を展開していきます。

I. 組織的課題への対応

1. 一般社団法人への移行
2. 組織基盤整備

II. 透析医療の確保、治療と生活の質的向上

1. 公的医療費助成制度の確保
 - 地域間格差の是正に向けた都道府県組織の取り組みの推進
2. 診療報酬改定への対応
 - ①一般病床における入院期間の特定除外制度の維持
 - ②夜間加算の拡大
 - ③療養病床の維持
3. 高齢透析患者対策
 - ①通院、入所、在宅における課題への対応
 - ・要介護透析患者の通院対策への取り組み
 - ・公共交通機関の廃止等による通院困難者への取り組み
 - ・通院困難者（重度要介護者）の施設入所・入居、在宅治療への取り組み
 - ②療養環境に関する研究
 - ・高齢者が望む療養環境、治療のあり方について調査（聞き取り等）と研究
4. 生活・所得保障

- ①生活できる年金額の実現に向けた取り組みの推進
- ②透析患者の就労の場の確保と夜間透析の保障に向けた取り組みの推進
- 5. 災害対策
 - ①全国大会におけるシンポジウムの開催
 - ②安否確認の方法に関する研究
- 6. 相談事業の推進
 - ①フリーダイヤルで専門家による相談体制の継続
 - ・生活相談
 - ・栄養相談
 - ・心の相談
 - ②日常の相談（電話、メール、手紙、来局）
- 7. 就労支援の推進
 - 透析患者の就労の場の確保と夜間透析の保障に向けた取り組みの推進

Ⅲ. 「患者中心の医療」の実現

- 1. 「透析患者憲章（仮称）」策定に向けた検討
- 2. 「慢性血液透析療法導入および終末期患者に対する見合わせに関する提言（案）」の検討への参加
- 3. 関係学会等との連携

Ⅳ. 治療法選択の拡大

- 1. 血液透析療法での選択肢が広がる環境づくり
 - 患者のライフスタイルに適し、生活の質を向上させる血液透析療法（在宅透析、深夜透析等）が選べる環境づくり
- 2. 腎臓移植の普及推進
 - ①臓器移植普及推進月間（10月）
 - ②第2回えてがみコンテストの実施
 - ③臓器移植フォーラムの開催
- 3. 慢性腎臓病（CKD）対策への積極的参画
 - 関係学会・団体等との協働による啓発事業の実施
- 4. 再生医療の調査
 - 腎臓の再生を目指した研究の成果と実情の学習

Ⅴ. 調査研究と政策提言

- 1. 腎疾患対策のための超党派議連の設立に向けた取り組み
- 2. 第43次国会請願の実施
- 3. 高齢透析患者の通院、入所、在宅等に関する調査研究
- 4. 鉄道運賃割引拡大に向けた取り組み
- 5. 高速道路障害者割引制度の見直しへの取り組み
- 6. 透析医療の地域間格差解消に向けた取り組み

VI. 情報発信

1. 会報「ぜんじんきょう」の発行
2. ホームページのリニューアル

■事業推進のために

1. 各種会議の開催

- ①総会
- ②理事会
- ③県組織役員、職員対象研修会
- ④通院送迎研修会
- ⑤青年会議

2. 全国大会の開催

3. 推進体制

○委員会の設置

- ・政策委員会
- ・通院対策委員会
- ・組織対策委員会
- ・臓器移植対策委員会
- ・災害対策委員会
- ・就労支援委員会
- ・高齢透析患者の通院、入所、在宅治療について研究するプロジェクトチーム
- ・「透析患者憲章（仮称）」策定プロジェクトチーム

4. 関係学会等との連携

5. 関係団体等との連携